

平成28年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	東京藝術大学	タイプ	B
事 業 名	日 ASEAN 芸術文化交流が導く多角的プロモーション ～協働社会実践を通じた心のインフラと質保証フレームの構築～		

〔評価コメント〕

本事業計画は、CLMV 諸国とタイの8芸術大学との強固な連携体制の下、アジア高等教育における芸術教育の拡充と地域共通の質保証システムの構築、そして、グローバルに活躍できる芸術系人材育成を目的とする事業である。東京藝術大学は、スーパーグローバル大学創成支援事業において、国内唯一の芸術系大学として選ばれ、既に日本や ASEAN 諸国政府と連携し、アジア地域全体の芸術教育のネットワーク構築と地域全体の芸術教育の質の向上を目指した数々の交流事業、シンポジウム、ワークショップを実施してきた日本を代表する教育機関である。その経験・実績、大学の特性を大いに活かした意欲的なプログラムであると言える。

また、教員と学生を一つのユニットとして派遣しており、単に学生の交流だけでなく、教員の交流を通じ、相互の芸術教育への取組の違いを学び合い、CLMV 諸国を代表する芸術大学と共有できる教育方法、評価方法並びに基準とは何か見出し、地域全体の芸術教育の質保証システムを構築することが期待できる。更に、参加学生全員が相互の芸術文化の違いに刺激を受け、新たな芸術作品の創造を促すとともに、国際的に通用する芸術文化理解能力のある人材を育成できる点は、非常に高く評価できる。

一方で、計画されている交流プログラムのほとんどは、数週間から1カ月程度の短期間のものであり、1学期や1年留学し、作品を協働で制作するような教育交流スキームは非常に少なく、今後どう拡充していくかは課題である。また、地域共通の学習成果評価システムの構築も今後更に明確化し、情報を公開していく必要がある。

最後に、今回「大学の世界展開力強化事業」に採択された貴学におかれては、将来の我が国と ASEAN 諸国との関係を見据え、質保証を伴った国際教育連携の先導的モデルに中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。